

秋のまるごと市にご参加下さい

●野菜・花・手作り品・リサイクル品・和菓子等々



秋のまるごと市を行います

ちょっと早いお知らせになりますが、10月22日(日)9時前から始めます。

まるごと市を初めて取り組んで

『昨年10月(2009年のこと)のまるごと市では、一番に、人が集まって来られるだろうかと不安になりました。初めて経験することだってあります。でも、不思議なものです。楽しさのほうが大きくて、人との交わりが持てて、苦にならないくらいです。多くの人が集まれば、知恵や技術の宝庫のようであり、見返りを期待しないような生き方の中には教わることがいっぱい

八幡まるごと館だより

2023年9月10日/165号
＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。



あります。昨年6月にオープンして丁度7カ月たちましたが、日々その思いを強く持つようになりました。気楽に集えて、いろいろと交流できたり、そんなに頑張らなくても、そのままいいんだよって、ひとりひとりが思えたり、そういうまるごと館をイメージして書いています』

2009年秋初めての市を終えての感想を2010年1月まるごと館便りに書いています。

あれから14年近く経ちました

当時は何かする時に全て他から借りてきて行っていました。このまるごと市の収益を備品、器具の購入にあててや

と行事を進められるようになりました。

コンサートのマイク音響、餅つき道具、テント、机、いす、プロジェクト、スクリーン等々です。

若い頃なら介護する側の人間として読んだだろうと思っただけです。信友直子さん(本業がドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター)著「ぼけに何があってもおかしくないし、今なら介護される側が近いです」▼同じ歳の1/2の人が100歳を超える時代の到来を人生100年時代と言いつつ、これまでは異なる人生設計が必要だと厚労省は説きます。しかし、毎年のように100歳以上の方が増えていることから、人生100年時代はもう始まっているとも。長い老後が続きます▼そこで、すぐ登場してくるのが高齢者がいるから若い自分たちの生活が苦しいのだとの声。どうして対立させて捉えるのかと思います。高齢者が増えるのは随分前からわかっているのに、対策がされていないから分断が起こる。高齢で歩けなくなっても大切にされる社会は今の若者つまり将来の高齢者にとっても望ましいと考えます▼「介護の社会化」へ動き出して23年目の介護保険。3年毎の改定の度に危ない状況があり、「再家族化」の動きが見え隠れしています。制度があっても使いにくくするという裏技で社会保障費を抑制しようとしています▼「ボケますから」の映画が既に上映されていて、『私にとっての親孝行とは、父と母を丸裸にするこの作品を世に出して、皆さんに認知症を、老老介護を』と信友さんが。我がことを思い浮かべてみられる映画では。次の一歩に。

次の一歩 今の場で住み続けるために(2)

今では困りません。

今、新しく地域でつながるには

もう一つ大切なことはまるごと市をはじめて実施した中で、人と人の交わり、つながりを実感できたことです。共に準備、出店されたり、参加して下さったり…。この経験は今でもずっと生きています。

まるごと館が「地域のコミュニティ」として機能しているかどうかわかりませんが、明らかにつながりができてきています。

この3年間のコロナ禍で一番そのことを実感したのは私自身でしょう。人が集まることが出来なくて、不安で不安でたまらなかつた気持ちをまるごと館に関わって下

さった方々がほぐして下さいました。

あの時期お一人でお住まいの方はいか程だったんだろうと後から情景が浮かんできました。余り外に出ることが出来ないし、毎回通っていたデイサービスもお休みになって、ずっと家に“寂しい”と口に出すことさえ出来ずに辛い日々を送られていた。

皆がそういう時を経て、つながることの大事さを以前よりもっと思います。まるごと館としてこれからを考えていきたいです。

フリーマーケットを募集しています

まるごと市は今回で24回目になります。今年春のまるごと市ではいつも参加して下さいる方々に加えて若い方も出店されました。楽しかったです。

手作り品でもお家にある必要なくなった品物でも、複数の方での参加も大いに歓迎致します。ご連絡下さい。

かつて、まるごと市で“楽しいことをしよう”と

初め何年かはまるごと市では炊き込みごはんは勿論、前日から準備してアップルパイも。それだけではなく、まるごと市の時間を10時



2011年10月秋のまるごと市

から15時として、館内で午前午後とコンサート等を催していましたね。2013年頃まで続けていました。八幡まるご館のホームページで見ることが出来ます。よくやっていたと思います。

今では

さて、当初から14年近く経ち、コロナ禍も経て参加者の方々の高齢化が進みました。初め

八幡の歴史



24日 今回から「江戸時代上津屋村の人々の暮らし」を出口修さんが話して下さいました。2016年に「歴史を訪ねて」でこの地区の庄屋だった伊佐家を訪ねたことがありま

映画「生きる」



25日 1952年黒澤明監督作品でした。映画が始まると、参加された方々は当時何歳だったという話題で盛り上がりました。志村喬さんが市

の頃当たり前に出来ていたことが少しずつ出来なくなってきたと私自身感じています。余裕がなくなってきたというのが的確でしょうか。でも、その代わりに、歳を重ねてきて、何が大切なことか以前より少しはわかってきたのではと思います。共に動いて下さる方々と余り無理することなく進められたらと思います。

まるごと館は

沢山の方々が支えて下さって今があります。講習会の講師や参加者の方々、野菜生産者の方々、野菜を買って下さる方々、行事等を共に取り組んで下さる方々。館が長い間歩んで来られたのは皆様方がいらっしゃったからです。

<8月にこんなことをしました>

した。木津川をはさんで西側に里垣内、浜垣内、東側に東上津屋村があります。当時は川でも街道と同じくらい交通が盛んだったらしいです。特に渡し船とは人が川をわたるだけでなく、牛馬や荷物、し尿の運搬には必要不可欠なものだった。船頭さんが決められていてそれを仕事にしている人もいました。

役所の市民課長で30年間退屈に意欲なく仕事をやってきて、がんになった。周りがびっくりするほど仕事に取り組んだ。

民からの要望があり、最後に出来上がった公園のブランコでゴンドラの唄をうたいながら命をとじる。懐かしい俳優も沢山出演されていました

パソコン教室



28日 パソコンを持って来られたのはおひとりだった

オカリナひまわり



28日 夏の間は参加者が少なかったです。クリスマスコンサートまで後10数

のですが、お話されていて楽しそうでした。Wordの文書を文字入力からされていて、次回はそこに画像をいれられる予定です。知り合いの方にそういう方法で近況報告されるのに丁度いいのではと思います

回の練習日です。時には練習より話に夢中になっている時がありますが、それもいいのではと

思えます。当日までに演奏がきっちり合うようにもっていきましょう。

八幡まるごと館 9月・10月の予定 休館 9月25日(月)、10月7日(土)

<パソコン教室> 毎週月曜日10時~12時です 9月4日(月)10時~12時 パソコンを持って来て下さい。 費用 300円(コーヒーつき) 9月25日は休みます
<オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時に 9月4日(月)13時~ 参加費100円 祝日の9月18日(月)、25日(月)は休みます
<絵手紙講習会> 9月13日(水)午後1時30分~ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は10月11日(水)です
<楽しい理科の実験 N051 プラバンで金魚> 色鉛筆とハサミが必要です 9月22日(金)13時30分~ 講師 木下章司さん 参加費 300円(コーヒーつき)
<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N049> 9月28日(木)13時30分~ 講師出口修さん 参加費 100円 月1回です
<映画上映会「ほけますから、よろしくお願ひします」> 10月6日(金)13時30分~ 参加費 100円
<秋のまるごと市> 野菜等、他にも色々あります。楽しめる時間が共有できる半日を。 10月22日(日)9時~12時 まるごと館と駐車場を使って行います。フリーマーケット8店を募集します。ご希望の方はまるごと館までご連絡下さい。

<あんなこと・こんなこと>

- * 前号で介護保険は2020年スタートと書きましたが、2000年と訂正させていただきます。
- * たよりを発行するのがいつも遅くなるので今回秋のまるごと市のことを載せました。まるごと館の必要な備品購入完了後売り上げの一部を2013年から福島子ども基金に寄付しています。この基金は福島の子どものための保養プロジェクト支援や甲状腺がん検診支援をおこなっ

ています。

- * まるごと市への出店等よろしくお願ひ致します。もう既にご希望がありました。
- * 10月6日(金)に映画「ほけますから、よろしくお願ひします」を上映します。何か感じる所があるように。どうかお越しく下さい。(うえたにじゅんこ)



今年春のまるごと市準備